

環境基本計画における数値目標(指標)の実績調査表

環境目標1 自然環境の保全及び創造

環境目標2 生活環境の保全及び創造

環境目標3 地球環境の保全

環境目標4 循環型社会の構築

環境目標5 環境教育及び環境保全実践行動の推進

市民生活部 生活環境課

(1)自然環境の保全及び創造(環境目標1)

指標	イノシシ捕獲数 (生態系や農作物等の被害防止のため、イノシシを捕獲します。)	単位				担当			
		頭				農林水産課			
1		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		894	692	619	977	944	1,714	823	856
<p>(平成27年度における取組内容) 平成27年度におけるイノシシ捕獲推進の取組みとしては、市が猟友会に捕獲業務委託を行うとともに、捕獲用の箱罠を購入し貸与した。また狩猟免許取得に係る助成を行った。このほか、上天草市有害鳥獣被害対策協議会の取組として、国の鳥獣被害防止総合対策整備交付金(ソフト事業)を活用し捕獲用箱罠を購入、猟友会へ貸与するとともに、緊急捕獲事業による捕獲を実施(前述の市の捕獲業務委託に交付金を上乗せして支払うもの)。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 平成27年度の捕獲実績としては、すでにH32の目標に達成したが、これは単にイノシシの生息範囲が広がり個体数が増加したことで、捕獲頭数も増加したものと考えられ、直接、農作物被害の減少に繋がったものではない。今後、猟友会会員の高齢化が進み、捕獲活動が厳しくなる中、猟友会依存の対策には限界があることから、従来の取組に加え、地域ぐるみによる農作物被害等の防止のための取組みを支援していく。</p>									
2		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		1,270	2,037	793	1,064	861	792	747	700
<p>(平成27年度における取組内容) ・森林病害虫等防除事業内の地上散布による松くい虫の除去(46ha≒496m³※)の実施 ※面積(ha)あたりの被害木の体積から、地上散布の実施事業量を体積で算出すると46haあたり496m³となる。 ・森林病害虫等防除事業内の伐倒駆除2種による、被害木の伐採(180m³)の実施。 ・森林環境保全整備事業内の衛生伐による被害木の伐採(116m³)の実施。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 被害調査による被害量も少なくなってきたことから、予防的処置の地上散布以外の伐倒駆除処理を行ったのは296m³と年々減少傾向にある。今後の事業方法についても、伐倒駆除から樹幹注入等の予防的処置に重心をおいた取り組みに切り替える検討が必要である。</p>									
3		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		1,015	970	957	681	732	733	1,050	1,100
<p>(平成27年度における取組内容) 放流効果を高めるため、放流サイズを大きくして、マダイ、ヒラメ、ガザミ、車海老計733千尾の稚魚放流を実施した。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 放流後の生存率向上のため、放流個体のサイズを大きくしたことで、基準値(H22)よりも尾数が減少しているが、引き続き同サイズで放流を行うこととする。また、水産研究センター、里海づくり協議会及び漁協等からの協力を得て放流箇所の検討や市場調査(混入率)の情報を共有し、より効果的な事業を検討していく。</p>									
4		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		41.6	51.2	48.8	46.1	53.2	48.0	45	50
<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・今後も引き続き市民や事業者などと連携したイベントの実施や地域の歴史・文化・自然などを活かした体験型観光の取組みを推進す</p>									

指標	学校給食での地元食材使用品目数 (地産地消の推進を図るため、学校給食での地元食材の使用品目を増やします。)	単位				担当			
		品				農林水産課			
5		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		70	65	65	63	68	82	65	68
<p>(平成27年度における取組内容) 地場農林水産物の利用促進のため、学校給食における地場産品材料費2分の1額及び地場食材を使用した新メニューに対し補助金を支出(市費及び国費による)。また、農事組合法人エコロジックファーマー(松島町)の協力により地場産米の納入も開始された。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 地元納入業者や農協、営農組織、漁協等に協力を仰ぎながら、地元産品の供給体制構築を図るとともに、加工品の生産者(地元農業者・漁業者)と学校のマッチングを併せて行う。</p>									
指標	森林(民有林)間伐面積 (健全な森林の育成を図るため、間伐を実施します。)	単位				担当			
		ha				農林水産課			
6		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		41.1	62.6	54.7	51.8	39.0	61.0	62	70
<p>(平成27年度における取組内容) 天草地域森林組合で補助事業(森林環境保全整備直接支援事業と間伐等森林整備促進対策事業)活用により61haの間伐を実施。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 従来は、森林環境保全整備直接支援事業のみを活用して間伐を行ってきたところであるが、平成27年度からは、間伐等森林整備促進対策事業を加え間伐を実施した。引き続き国・県の支援策を積極的に活用し間伐を中心とした森林整備を推進していく。</p>									

(2)生活環境の保全及び創造(環境目標2)

指標	「空気のきれいさ」の満足度 ※市民アンケート調査	単位				担当			
		%				生活環境課			
1		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		71.0	79.9	83.3	71.2	78.8	76.9	75	80
<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・公害に係る苦情について関係機関と協力しながら迅速かつ適切な処理関係に努め、特に空気のきれいさに直結する家庭ごみの野焼き禁止指導を徹底していく。</p>									
指標	「いやなにおい(悪臭)のなさ」の満足度 ※市民アンケート調査	単位				担当			
		%				生活環境課			
2		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		59.9	67.3	75.3	73.1	71.8	70.9	65	70
<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・「空気のきれいさ」と同様に、公害に係る苦情について関係機関と協議しながら迅速かつ適切な処理関係に努める。</p>									

指標	浄化槽普及率	単位	担当
----	--------	----	----

3	標	(生活排水の適正な浄化の拡大を図るため、浄化槽の普及率を高めます。)	%				都市整備課			
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
			22.8	24.7	25.7	27.0	28.5	30.1	27	35
			<p>(平成27年度における取組内容) 浄化槽設置整備事業による助成制度の啓発に努め、合併浄化槽の設置の促進を図った。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 核家族化が進み、高齢者の一人暮らしが増加する中、単独浄化槽等からの合併処理浄化槽への転換する者が減少しつつある。引き続き、浄化槽設置整備事業による助成制度の啓発に努める。</p>							
4	指	水洗化率	単位				担当			
	標	(公共下水道、浄化槽、コミュニティプラントを利用する水洗化率を高めます。)	%				都市整備課			
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
			37.3	41.0	44.4	45.6	46.6	48.3	48.7	57
			<p>(平成27年度における取組内容) 公共下水道整備区域においては、下水道への接続を促進する啓発活動に努めた。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 人口減少や少子高齢化等の地域社会構造の変化、財政状況悪化及び既存施設老朽化による改築費用増加等の現状を踏まえ、各生活排水処理施設の役割分担を明確にした、各生活排水施設の効果的な整備方針「上天草市汚水処理施設整備構想」を策定したのでこれに基づき実施する。(平成27年概成)</p>							
5	指	「水のきれいさ(海・川・海岸)」の満足度	単位				担当			
	標	※市民アンケート調査	%				生活環境課			
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
			34.3	37.9	46.4	47.2	43.4	46.1	40	45
			<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・平成25年度から県補助を活用した海岸漂着ごみの撤去を行ってきた結果がアンケート結果に表れてきていると想定される。今後は県の補助額が少なくなることが懸念されるため、地域住民と協力しながら海岸保全に努めていく。</p>							
6	指	公共用水域(河川)の水質(BOD)※環境基準の達成率	単位				担当			
	標	(環境基準達成に向けて、河川における水質を維持します。)	%				生活環境課			
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
			100	100	100	100	100	100	100	100
			<p>(平成27年度における取組内容) 平成27年度熊本県:水質調査報告書(公共用水域及び地下水)による状況把握 ※測定地点:教良木川(倉江橋)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・市内の水質保全を図るためにも、引き続き合併浄化槽の普及促進に努めていくとともに、生活排水対策や水質浄化に関する取り組みの啓発を行う。</p>							

指	公共用水域(海域)の水質(COD) ※環境基準の達成率	単位	担当
---	-----------------------------	----	----

7	指 標	(環境基準達成に向けて、海域における水質を維持します。)	%				生活環境課			
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
			100	75	100	50	100	100	100	100

(平成27年度における取組内容)
平成27年度熊本県:水質調査報告書(公共用水域及び地下水)による状況把握
※測定地方:三角港地先、合津港地先

(目標達成に向けた課題及び対応方針)
海域の水質の維持に向けた継続的な監視を行いながら、生活排水対策の推進及び森林などの整備を促進します。

8	指 標	「まちなみの美しさ」の満足度 ※市民アンケート調査	単位				担 当		
			%				生活環境課		
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)

(平成27年度における取組内容)
H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)

(目標達成に向けた課題及び対応方針)
・アンケート結果のため数字が上下することがあるが、平成26,27年と満足度が下がっている。今後は更に地域の美化活動を支援し、市内に環境美化に努める必要がある。

9	指 標	指定文化財件数 (重要な文化財の適正な保全及び継承のため、指定文化財の件数を増やします。)	単位				担 当		
			件				社会教育課		
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)

(平成27年度における取組内容)
指定文化財を増やしていくため、周知の文化財に関する現地調査、台帳整理及び保全活動を引き続き実施したが、昨年度からの指定文化財の件数に増減はなかった。

(目標達成に向けた課題及び対応方針)
文化財を管理している個人(組織)の高齢化によって、適正な管理・継承に支障をきたしている現状がある。今後、指定文化財を増やしていくためにも長期に渡り管理を継続するための体制づくりが重要である。

(3)地球環境の保全(環境目標3)

1	指 標	「地球温暖化に対する関心度・取組み」への満足度 ※市民アンケート調査	単位				担 当		
			%				生活環境課		
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)

(平成27年度における取組内容)
H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)

(目標達成に向けた課題及び対応方針)
・25年度から引き続き目標を達成している。今後も上天草市地球温暖化実行計画(区域施策編)の周知を徹底していきたい。

指	「生活の便利さよりも環境の保全や省エネルギーを優先したい」と考える人の割合	単位		担 当
---	---------------------------------------	----	--	-----

指 標	※市民アンケート調査						%		生活環境課					
2							H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
							64.1	61.2	64.7	59.7	56.4	57.1	70	75
<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・市庁舎に設置の太陽光発電設備の発電モニターや上天草市受託用省エネルギー設備設置費補助金の周知することで市が率先して環境保全や省エネルギーに努めていることを市民にアピールしていく。</p>														

指 標	市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量 (市が率先して、温室効果ガス排出量を削減します。)						単位		担 当	
3							kg		生活環境課	
							※H22	H23	H24	H25
<p>4,238,983 4,160,005 5,086,789 5,386,424 4,914,759</p> <p>(平成27年度における取組内容) 調査中</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 調査中</p>										

指 標	市庁舎電気使用量 (電気使用量を減らし、電気からの二酸化炭素排出を抑制します。)						単位		担 当	
4							kwh		監理課	
							H22	H23	H24	H25
<p>913,395 890,681 880,143 797,511 745,471 707,728</p> <p>(平成27年度における取組内容) ・30分ごとの最大電気使用量を設定し、使用の抑制に取り組んでいる。 ・省エネ電灯への取替</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・目標達成済みである。 ・平成27年度同様の取組を継続する。 ・職員に対し、電気使用量の抑制について、注意喚起を行う。</p>										

(4)循環型社会の構築(環境目標4)

指 標	レジ袋辞退率 (マイバッグを利用し、レジ袋を辞退する人の割合を高めます。)						単位		担 当	
1							%		生活環境課	
							H22	H23	H24	H25
<p>76.2 69.0 70.4 77.9 80.7 80.7</p> <p>(平成27年度における取組内容) ・レジ袋削減(マイバッグ)推進キャンペーン</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・目標値自体は達成しているが、前年度とほぼ横ばいとなったため、市広報、各種イベント等を活用して情報の提供を継続する必要がある。</p>										

指 標	生ごみなどを堆肥化し、肥料などにしている人の割合						単位		担 当	
-----	--------------------------	--	--	--	--	--	----	--	-----	--

指 標	※市民アンケート調査				%		生活環境課		
2		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		35.2	37.9	39.4	34.1	39.4	32.8	42	50
<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・引き続き生ごみ処理機や堆肥化容器の補助とその周知を行っていく。</p>									

指 標	ごみ出しのマナーやごみの分別の状況への満足度 ※市民アンケート調査				単位		担 当	
3		%				生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)
52.1	64.1	65.1	69.1	65.9	55.1	58	65	
<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・引き続き分別作業現地指導を行うとともに、市民が理解しやすい「ごみ収集カレンダー」及び「分別の手引き」作成に努め周知していく。</p>								

指 標	レジ袋削減推進協定参加店舗数 (レジ袋の無料配布中止等に取り組む参加店舗を増やします。)				単位		担 当	
4		件				生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)
100	125	125	120	113	120	120	140	
<p>(平成27年度における取組内容) ・広報活動(参加事業者掲載等) ・レジ袋削減(マイバッグ)推進キャンペーン</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・市内の事業者を訪問し、協定の参加に向けた働きかけを行う。 ・協定に掲げる目標率80%を目指し、取組の在り方や方法について検討する。</p>								

指 標	1人1日当たりのごみ排出量 (家庭での生ごみの堆肥化や事業所での適切な分別などにより、排出される一般廃棄物を抑制します。)				単位		担 当	
5		g				生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)
747	757	761	776	786	791	690	654	
<p>(平成27年度における取組内容) ・広報活動 ・生ごみ処理機器購入補助金事業の実地 ・レジ袋削減(マイバッグ)推進キャンペーンの実施</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・僅かずつではあるが、年々数値が増えていっているため、今後も広報誌におけるごみ特集の掲載やホームページでの周知などで、市民へのごみ排出量原料に対する意識を高めていく。</p>								

指 標	リサイクル率	単位	担 当
-----	--------	----	-----

指標	(家庭や事業所における適切な分別により、焼却ごみを減らし、資源化します。)	単位	%		生活環境課					
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
6			11.8	11.3	10.8	10.4	10.2	10.2	15	20
<p>(平成27年度における取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ・学校給食生ごみ堆肥化の実験を開始 ・「ごみの分別の手引き」の配布 ・生ごみ処理機器購入費補助金事業の実施 <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食生ごみ堆肥化の実験を開始しているため、今後はこれで行ったデータをもとに、さらに他の施設でも生ごみを堆肥化できないか検討していく。 ・市民に向けてさらにごみ分別の周知・啓発を行っていく。 										

指標	廃棄物の不法投棄の状況への満足度 ※市民アンケート調査	単位	%		担当					
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
7			12.8	19.2	16.9	16.0	18.3	15.7	25	40
<p>(平成27年度における取組内容)</p> <p>H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き巡回パトロールや看板の設置を行い不法投棄の発生抑制を図るとともに、警察・保健所とも連携して取締強化を行う。 										

(5)環境教育及び環境保全実践行動の推進(環境目標5)

指標	環境問題に関心のある人の割合 ※市民アンケート調査	単位	%		担当					
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
1			82.5	89.3	89.2	88.7	88.6	83.6	85	90
<p>(平成27年度における取組内容)</p> <p>H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値はクリアしているものの過去5年の間では最も低い満足度となっているため、市が取り組んでいる環境行政について更なる周知をしていく必要がある。 										

指標	子どもエコクラブ参加団体数 (子どもの段階から環境問題に関心を持ち、自主的な環境保全活動を行う参加団体数を増やします。)	単位	団体		担当					
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
2			1	0	0	0	1	2	5	10
<p>(平成27年度における取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校へのメンバー募集依頼 <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業について更なる周知を行い、参加を働きかけていく。 ・学校等の関係機関と連携する。 										

指標	環境「出前講座」の開催回数 (環境問題に関する知識やノウハウを身につける機会を増やします。)	単位	回		担当			
							生活環境課	

3		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		6	7	7	3	5	2	6	12
		<p>(平成27年度における取組内容) ・適正な分別方法について(2回)</p>							
		<p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・市民の環境配慮意識向上のため、出前講座の利用を広報等で周知し、開催回数増加に繋げるとともに、開催回数の増加はごみの削減等とも直結するため、講座の中でも環境に配慮するような意識高揚をさらに高めていく。</p>							
4		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		3	3	5	6	7	8	9	16
		<p>(平成27年度における取組内容) 登録団体への活動に対する支援(清掃用具の貸与、ボランティア活動保険への加入など)を行った。</p>							
		<p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 活動団体は増加傾向にあるが、目標の登録団体数に達していないため、市HPや広報紙等で活動の紹介や当事業への参加など周知を図り、登録団体の増加を図っていききたい。</p>							
5		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27(目標)	H32(目標)
		26.0	28.3	27.4	25.0	34.6	25.2	30	35
		<p>(平成27年度における取組内容) H28年2月アンケート調査実施(対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人)</p>							
		<p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・昨年度に比べて大きく割合が下がっている。市主催の環境イベントや関係機関と連携した環境関連イベントの開催について検討し、市財政状況が厳しい中でも安価で市民が環境について理解を深めるような効果的な内容を模索していく。</p>							
指標	アダプトプログラム登録団体数 (環境美化意識の向上やボランティア活動の活性化を図るため、市と協働する登録団体を増やします。)	単位							担当
		団体							企画政策課
指標	環境に関する講演会や自然観察会などに参加している人の割合 ※市民アンケート調査	単位							担当
		%							生活環境課